

平成25年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成25年10月9日
調布市教育委員会指導室

1 調査内容等

<p>実施日：平成25年4月24日（水）</p> <p>調査対象：小学校第6学年，中学校第3学年</p> <p>調査内容：（1）教科に関する調査（国語，算数・数学）</p> <p>①国語A，算数・数学A：主として「知識」に関する問題</p> <p>②国語B，算数・数学B：主として「活用」に関する問題</p> <p>（2）質問紙調査</p> <p>①児童・生徒が回答する質問</p> <p>②学校が回答する質問</p>

2 調査の概要

<p>(1)都道府県の状況</p> <p>①都道府県の状況（公立）について，平均正答率を見ると，最低平均正答率と全国平均正答率の差が縮小傾向にある。</p> <p>②今年度の調査問題の主な特徴</p> <p>○これまでの調査（平成19年～22年度の調査結果）で見られた課題についての改善状況を把握する観点から問題を出題。</p> <p>○これまでの調査で見られた課題について，依然として課題が見られるものがある。</p> <p>○一方，改善状況が見られたものがあるが，これらについては引き続き注視が必要である。</p> <p>(2)調布市の状況</p> <p>①市の各教科A・Bの平均正答率は，国や都の平均正答率をすべて上回っている。</p> <p>②市の平均正答率と国や都の平均正答率との差は，全体的にB「活用」の方がA「知識」より大きい。</p>

3 小学校における「国語，算数の平均正答率」及び「各領域別の平均正答率」

	国語A			国語B				
	調布市	都	国	調布市	都	国		
平均正答率(全体)	68.1	+3.3	64.8	62.7	55.6	+3.5	52.1	49.4
話すこと・聞くこと	48.5		46.0	43.2	70.6		67.0	64.8
書くこと	60.3		56.1	53.0	49.6		46.0	43.8
読むこと	66.6		62.9	60.0	53.9		50.6	47.9
言語事項	67.8		64.7	62.6	70.9		66.7	63.8

6 中学校における「国語，数学の平均正答率」及び「各領域別の平均正答率」

	国語A			国語B				
	調布市	都	国	調布市	都	国		
平均正答率(全体)	78.7	+1.4	77.3	76.4	71.4	+2.1	69.3	67.4
話すこと・聞くこと	79.6		78.5	77.6				
書くこと	67.9		66.0	64.5	66.7		64.3	62.7
読むこと	82.4		81.4	80.0	71.9		69.7	67.8
言語事項	79.6		78.1	77.5	67.3		65.9	64.6

	算数A			算数B				
	調布市	都	国	調布市	都	国		
平均正答率(全体)	80.6	+2.2	78.4	77.2	64.4	+3.6	60.8	58.4
数と計算	83.8		81.6	80.2	56.4		51.7	48.3
量と測定	70.0		68.5	68.3	62.7		58.7	56.0
図形	76.9		74.5	72.5	82.8		81.2	79.3
数量関係	87.7		85.1	83.4	61.9		57.8	54.9

	数学A			数学B				
	調布市	都	国	調布市	都	国		
平均正答率(全体)	66.3	+1.1	65.2	63.7	44.4	+1.2	43.2	41.5
数と式	76.5		74.8	72.7	43.1		42.3	41.7
図形	66.5		66.0	64.6	46.2		48.7	44.8
関数	60.5		59.5	58.7	44.8		42.1	40.0
資料の活用	50.5		49.1	46.8	44.7		43.3	42.2

4 小学校の国語における優れている点及び課題点

優れている点	国語A 【言語事項】	【「漢字を読む」設問】 「漢字を正しく読む」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ0.1ポイント上回っており，正答率99.0%と国語Aの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
	国語B 【話すこと・聞くこと】	【「助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する」設問】 「相手の立場や状況を感じ取って聞く」出題趣旨の理解においては，都の平均と同じで，正答率84.1%と国語Bの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
課題点	国語A 【話すこと・聞くこと】	【「選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する」設問】 「スピーチの表現を工夫する」出題趣旨の理解においては，都の平均を2.5ポイント上回っているものの，正答率48.5%（無解答率22.4%）と国語Aの中で最も低い正答率となっている。
	国語B 【書くこと】	【「複数の内容を関係付けた上で，自分の考えを具体的に書く」設問】 「目的や意図に応じ，複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ1.1ポイント上回っているものの，正答率19.7%（無解答率17.3%）と国語Bの調査結果の中で最も低い正答率となっている。

7 中学校の国語における優れている点及び課題点

優れている点	国語A 【話すこと・聞くこと】	【「話し合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する」設問】 「話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ2.0ポイント上回っており，正答率93.3%と国語Aの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
	国語B 【読むこと】	【「表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する」設問】 「表現の仕方に注意して読み，その効果を考える」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ2.0ポイント上回っており，正答率79.9%と国語Bの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
課題点	国語A 【書くこと】	【「出された意見を整理して，決定の理由を適切に書く」という設問】 「文の接続に注意し，伝えたい事柄を明確にして書く」出題趣旨の理解においては，都の平均を3.1ポイント上回っているものの，正答率52.8%（無解答率3.8%）と国語Aの中で最も低い正答率となっている。
	国語B 【書くこと・読むこと】	【「かるたについて分かったことを基に，さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く」設問】 「課題を決め，それに応じた情報の収集方法を考える」出題趣旨の理解においては，都の平均を2.7ポイント上回っているものの，正答率61.4%と国語Bの中で最も低い正答率となっている。

5 小学校の算数における優れている点及び課題点

優れている点	算数A 【量と測定】	【「木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ」設問】 「曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計画を理解している」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ0.7ポイント上回っており，正答率98.0%と算数Aの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
	算数B 【図形】	【「5列10番の座席の位置を基に2列4番の座席の位置を表す」設問】 「示された情報の中から二つの要素の意味を解釈し，ものの位置を特定することができる」出題趣旨の理解においては，都の平均を0.8ポイント上回っており，正答率95.0%と算数Bの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
課題点	算数A 【量と測定】	【「1a（アール）と等しい面積になる正方形の辺の長さを選ぶ」設問】 「1a（アール）の面積と等しい正方形の辺の長さを理解している」出題趣旨の理解においては，都の平均を0.1ポイント上回っているものの，正答率52.7%（無解答率1.1%）と算数Aのなかで最も低い正答率となっている。
	算数B 【量と測定】	【「示された実験の結果から，ふりこの長さと10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く」設問】 「表から数値を適切に取り出して，二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ5.8ポイント上回っているものの，正答率44.3%（無解答率18.2%）と算数Bの調査結果の中で最も低い正答率となっている。

8 中学校の数学における優れている点及び課題点

優れている点	数学A 【数と式】	【「 $2(5x+9y) - 5(2x+3y)$ を計算する」設問】 「整数の加法と減法の計算できる」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ1.9ポイント上回っており，正答率85.9%と数学Aの調査結果の中でも高い正答率となっている。
	数学B 【関数】	【「水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める」設問】 「与えられた表から情報を適切に選択し，処理することができる」出題趣旨の理解においては，都の平均と比べ2.6ポイント上回っており，正答率75.8%と数学Bの調査結果の中で最も高い正答率となっている。
課題点	数学A 【関数】	【「yがxの関数である事象を選ぶ」設問】 「関数の意味を理解している」出題趣旨の理解においては，都の平均を2.5ポイント下回っており，正答率10.9%（無解答率1.8%）と数学Aの中で最も低い正答率となっている。
	数学B 【数と式】	【「基石全部の個数を， $3n(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する」設問】 「事象と式の対応を的確に捉え，事柄が成り立つ理由を説明することができる」出題趣旨の理解においては，都の平均を0.8ポイント下回っており，正答率25.2%（無解答率41.1%）と数学Bの中で最も低い正答率となっている。